児童だより

しゃぼん玉

No.436
2021ねん
6がつごう

にしのみやしりつとしょかん

雷の本

空からふってきたカミナリこぞうがぼくの家までついてきた！

「カミナリこぞうがふってきた」
シゲリカツヒコ／作　ポプラ社
Ｅ３シケ

かみなりにケガを治すようたのまれた医者は…。狂言の「神鳴」をアレンジした絵本。

「かみなり　狂言えほん４　」
内田麟太郎／文　よしながこうたく／絵
ポプラ社　Ｅ１カミ

あらしの夜、いぬくんが「こわいよ～」ってぼくのベッドにやってきた。でもだいじょうぶ。かみなりなんてこわくないよ。

「かみなりなんてこわくない　」
ジェイミー・Ａ.スウェンソン／ぶん
デイヴィッド・ウォーカー／え
ひがしかずこ／やく
岩崎書店　Ｅ４ウオ

雷が静電気って知っていた？冬の雷は下から上へのぼるものが多いんだって！

「天地のドラマ　すごい雷大研究」
かこさとし／著　小峰書店　４５

風の神様と雷の神様が描かれた風神雷神図は今にも動き出しそう！

「感じて見よう！はじめてであう日本美術　１」
佐野みどり／監修　教育画劇　７０

いろいろなかみなりの本を読んでみよう！

あたらしい本のコーナー

えほん

『あらいくん』

中川ひろたか／文　ｓｅｒｉｃｏ／絵
世界文化社　Ｅ３セリ

あらいぐまのあらいくんはきれいずき。いつでもなんでもジャブジャブジャブ。こうえんにあそびにいったら、てにどれくらいばいきんやウイルスがついているのかわかる、ふしぎなはこをかかえたおとこのひとがいた。あらいくんのてにばいきんはついているのかな？

えほん

『おっこちてきた』

サイモン・プトック／文　ダニエル・イグヌス／絵
青山南／訳　光村教育図書　Ｅ４イク

それは、おっこちてきた。「これ、なに？」「いきてる？」つぎつぎ、とおりかかった４人がはなしかけても、ぜんぜんうごかず音ひとつたてない。４人は雨にぬれないように世話をすることにした。ひとが見物にやってきたが、**それ**はころがったままだった。

よみもの

『きみのいた森で』

ピート・ハウトマン／作　こだまともこ／訳
評論社　９３２ハウ

スチューイはおじいちゃんが残した森で遊ぶのが大好きな９歳の男の子。エリー・ローズとは誕生日と、森の秘密の場所が偶然一緒で親友になった。ある日ふたりが森の秘密の場所で遊んでいたら、スチューイの目の前でゆらゆらとエリーがぼやけて消えてしまった！

よみもの

『食虫植物ジャングル』

萩原弓佳／作　文研出版　９３１ハキ

小学５年の宏太たちは、夏休みの宿題の壁新聞を作るために植物園へ。植物園には、会ったときに３回願いごとを唱えると願いがかなうというオウムのピーカちゃんがいる。宏太たちはいきなりピーカちゃんに出会い、あわてて願いごとを唱えたのだが……。

しらべもの

『渋沢栄一　人物としごと』

こどもくらぶ／編　岩崎書店　Ｂシフ

2024年に新しい一万円札の肖像となる渋沢栄一。でも、栄一がどんな人か知らない人も多いよね。日本初の銀行設立、ガスの普及、鉄道会社育成などはほんの一部。道徳と経済の両立を大事にしながら多くの功績を残した栄一の人生としごとにふれてみよう。

しらべもの

『教えて！感染症３「かぜ」から「新型コロナ」まで』

土井洋平／監修　小峰書店　４９

感染症とは、目に見えない小さな生物が原因でおこるさまざまな病気のこと。今、私たちのくらしに大きな影響をあたえている新型コロナウイルス。社会の変化や新しい取り組みなど、正しい知識を知って、これからの感染症とのつき合い方を考えてみよう。

おはなし会の開催については各図書館にお問い合わせください。